

常盤台便り

Letter from the Residential Tokiwadai

第154号 2024年12月15日

秋の大運動会!!



選手宣誓!!



今年は番街対抗応援合戦が復活



結果は.....
新棟の2連覇!



12月

- 12月15日(水) クリスマスコンサート
(たんぽぽの会&フレンドハーモニー)
- 12月24日(火) クリスマスバイキング
- 12月26日(木) お餅つき



1月

- 1月1日(水) 元旦お祝膳
- 1月5日(日) 新年祝賀の集い

よこはま高齢者福祉研究大会

10月29日(火)に横浜市健康福祉総合センターにて開催された「よこはま高齢者福祉研究大会」に参加しました。「2040年を魅力的な福祉・介護の未来に変える」をテーマにしたこの大会には31題の研究発表が行われました。レジデンシャル常盤台から4つの演題を発表させていただきました。



入浴ケア検討委員会



行事委員会



奨励賞を頂きました。



研修委員会

広報委員会

「思い出を紡ぐ便り
とびっきりの笑顔を追いつけて」

レジデンシャル常盤台 広報委員会
スーパーバイザー: 高橋施設長
委員: 薄倉, ヴァン, 石間, 石塚, 滝澤, 雑賀, 良元

広報委員会

Only One

誰にでも、大切にしている“物”や“思い出”“人”etc があると思います。このコーナーではそんな人の“Only One”をご紹介します!

3番街 大塚京子さまの Only One

今月のOnlyOneは、3番街の大塚京子様です。

母、大塚京子は昭和10年に6人兄弟の三女として、富山市で生まれました。6歳のころ、東京荒川区でタバコ屋を営む大塚家の養女となりました。ともしつけが厳しく故郷を離れて一人、つらい思いを数多くしたそうです。疎開を兼ねて中学高校は富山の実家で過ごし、富山商業高校を卒業しました。簿記やソロバンが得意で字もすごく上手でした。卒業後は東京へ戻り70年近くにわたってタバコ屋を営んできました。父(母の婿殿)は、「24時間戦えますか」の典型的な昭和の猛烈サラリーマンで帰宅はいつも午前様。養父母亡き後は母が一人で店を切り盛りしていました。店は朝7時から、夜は風呂屋の終わる11時過ぎまで営業し「うちはセブンイレブンの元祖だ」と冗談を言っていました。お菓子や雑貨も扱い、赤電話も3台設置して大忙し。タバコや赤電話の売り上げがよく、何度か当時の公社から表彰されたほど。荒川区荒川町は旧町名「三河島」典型的な下町店先でご近所さんと楽しくおしゃべりをして過ごす日々……



タバコ屋は、母の元気の源であり生きがいでもありました。

編集後記

今年もあと少し……寒さが厳しくなりますが、元気で新しい年を迎えましょう。